

様式第 23 号 (第 51 条、第 56 条、第 56 条の 2、第 57 条関係)

第 一 種 圧 力 容 器 明 細 書

種 類							
形 式							
① 最 高 使 用 圧 力		MPa					
		MPa					
最 高 ・ 最 低 使 用 温 度		最 高	℃			最 低	℃
第 一 種 圧 力 容 器	内 容 積	m ³					
	胴	材 料			最 大 内 径		
					mm		
		長 さ			板 の 厚 さ		
		mm			mm		
	鏡 板 又 は 管 板	材 料	形 式	すみの丸みの内半径		板 の 厚 さ	
				mm		mm	
	ふ た 板	材 料	形 式	板 の 厚 さ		フランジ部の厚さ	
				mm		mm	
	ス テ ー	種 類	材 料	径		胴、鏡板等との取付方法	
				mm			
				mm			
ふ た 板 締 付 け ボ ル ト	材 料	呼 び 径			数		
		mm					
胴の長手継手の種類及び効率							

の 構 造	マンホール、掃除穴、検査穴等の大きさ及び数	種 類		大 き さ		数	
				mm × mm			
				mm			
				mm			
	管	材 料		外 径		厚 さ	
				mm		mm	
	② 安全弁その他の安全装置	種 類	形 式	呼 び 径	個 数		
				mm			
			mm				
製造者名及び製造年月		年 月					
工 作 責 任 者 氏 名							
※ 構造検査又は使用検査の別 (いずれかを○で囲む)		構造検査 ・ 使用検査					
※ 水 圧 試 験 圧 力		MPa					
※ 検査場所及び検査年月日		年 月 日					
※ 刻 印 番 号							
※ 検査者の所属及び氏名							
※ 摘 要							

備考

- ①及び②の欄は、間接加熱式第一種圧力容器にあつては、上欄は被加熱物側について、下欄は熱源側について、それぞれ記入すること。
- ②の欄の「種類」の項には、ばね安全弁、逃がし弁等の別を、同欄の「形式」の項には、揚程式、全量式等の別を記入すること。
- ※印を付してある欄は、申請者において記入しないこと。
- 第一種圧力容器の構造を示す図面を添付すること。